

事後評価調書

I 事業概要																											
事業名	農業農村整備事業（用排水施設整備事業）																										
地区名	おおさとなんぶ 大里南部地区																										
事業箇所	稲沢市																										
事業のあらまし	<p>本地区は、稲沢市東部の低平な農村地域に位置している。</p> <p>地区内流域 73ha の排水は、二級河川福田川へ自然排水しているが、地区内の開発による流出量の増大、地盤沈下による排水路の機能低下によって豪雨時には度々溢水し、農地や農業施設、公共施設等に湛水被害が生じていた。</p> <p>このため、排水路を改修することにより、これらの湛水被害を防止し、農業経営の安定と県民生活の安全・安心を図ることを目的として、平成 19 年度から用排水施設整備事業を実施し、平成 25 年度に完了した。</p>																										
事業目標	<p>【達成（主要）目標】</p> <p>排水能力が不足する排水路を改修し、農地、農業用施設及び公共施設等の湛水被害を防止する。（計画基準雨量 217mm/日、1/10 確率雨量）</p> <p>【副次目標】</p> <p>—</p>																										
事業費	事業費		内訳																								
	3.2 億円		■工事費 2.8 億円、□用補費 0.2 億円、■その他 0.2 億円																								
事業期間	採択年度	平成 19 年度	着工年度	平成 20 年度	完成年度	平成 25 年度																					
事業内容	排水路 L=1,159.5m																										
II 評価																											
①事業目標の達成状況	1) 主要目標の達成状況	<p>【達成状況】</p> <p>事業完了からの5年間では、平成29年10月22日に最大日降水量は233.0mmを観測したが、農地や農業施設、公共施設等の被害は発生していない。</p> <p>降雨実績 H25. 1. 1～H29. 12. 31 愛西観測所降雨データ</p> <table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>計画</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>最大日降水量</td> <td>217.0 mm</td> <td>130.5 mm</td> <td>125.0 mm</td> <td>140.5 mm</td> <td>160.0 mm</td> <td>233.0mm</td> </tr> <tr> <td>最大1時間雨量</td> <td>(44.3 mm)</td> <td>(60.4 mm)</td> <td>(49.0 mm)</td> <td>(58.0 mm)</td> <td>(36.0 mm)</td> <td>(36.5mm)</td> </tr> </tbody> </table> <p>【達成状況に対する評価】</p> <p>計画基準雨量以上の降雨実績に対し、湛水被害は発生しておらず、本事業は農業経営の安定と県民生活の安全・安心に寄与していると評価できる。</p>					区分	計画	H25	H26	H27	H28	H29	最大日降水量	217.0 mm	130.5 mm	125.0 mm	140.5 mm	160.0 mm	233.0mm	最大1時間雨量	(44.3 mm)	(60.4 mm)	(49.0 mm)	(58.0 mm)	(36.0 mm)	(36.5mm)
	区分	計画	H25	H26	H27	H28	H29																				
最大日降水量	217.0 mm	130.5 mm	125.0 mm	140.5 mm	160.0 mm	233.0mm																					
最大1時間雨量	(44.3 mm)	(60.4 mm)	(49.0 mm)	(58.0 mm)	(36.0 mm)	(36.5mm)																					
2) 副次目標の達成状況	<p>【達成状況】</p> <p>—</p> <p>【達成状況に対する評価】</p> <p>—</p>																										

Ⅲ 対応方針	
今後の事後評価の必要性	主要目標が計画通り達成されているため、今後の事後評価は不要である。
改善措置の必要性	主要目標が計画通り達成されているため、改善措置は不要である。
同種事業に反映すべき事項	標準的な事業計画、工法で施工しているため、同種事業に反映すべき事項はない。